

五島市監査委員公表第2号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づき、平成28年度の財政援助団体等監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により、別紙のとおり公表する。

平成29年3月30日

五島市監査委員 橋本平馬

五島市監査委員 神之浦伊佐男

平成 28 年 度

財政援助団体等監査結果報告書  
(財政援助団体監査)

平成 29 年 3 月 30 日報告

五 島 市 監 査 委 員

## 目 次

第1	監査の種類	1
第2	監査の目的	1
第3	監査の対象	1
第4	監査の範囲	1
第5	監査の方法	1
第6	監査の期間	1
第7	監査の結果	1
第8	シルバー人材センターの概要	2

第1 監査の種類 財政援助団体等監査（財政援助団体監査）

第2 監査の目的

財政援助団体等監査は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「自治法」という。）第199条第7項の規定に基づき、市が補助金交付等の財政的援助を与えている団体に対して、財政的援助等に係る出納その他の事務の執行が適正かつ効率的に行われているかに主眼をおき、行うものである。

第3 監査の対象 公益社団法人五島市シルバー人材センター（以下「シルバー人材センター」という。）  
所管課：長寿介護課

第4 監査の範囲 平成27年度シルバー人材センター運営費補助金及び補助等交付対象経費に係る経理事務

第5 監査の方法

監査の実施に当たっては、あらかじめ財務関係資料、関係帳簿及び証拠書類の提出を求め、その内容について審査するとともに関係者から事情を聴取した。また、シルバー人材センター事務所において、現地調査を行った。

第6 監査の期間

平成29年2月13日から同年3月28日まで

第7 監査の結果

事務・事業は、補助目的に沿って執行されており、概ね補助の効果を上げているものと認められるものの、事務処理の一部において、指摘事項等が見受けられたので、意見を付してその状況を記載する。

シルバー人材センター

指導事項

(ア) 預金通帳は所定の金庫に保管し、銀行届出印は経理責任者が別に保管するなど、事故防止に努められたい。

意見

(ア) 定款、諸規則等については、シルバー模範規程を参考に制定されているが、実状と合わない規定等があるので、見直しを検討されたい。

(イ) 法人業務の適正化を図るため、監査の回数や方法等を研究し、更なる監査の充実を図られたい。

(ウ) 小口現金の額は、紛失等の事故を未然に防止するためにも必要最小限に留めるよう努められたい。

(エ) シルバー人材センターの経営状況は良好で、事業拡大も期待される

中、会員確保が計画どおりに進んでいない状況にあるので、会員確保、特に支所地区の会員確保に更なる取組を講じられたい。

## 長寿介護課

### 指摘事項

- (ア) 平成 20 年度定期監査において、例規又は伺い定めによる要綱を整備すべきと指摘したところであるが、未だに整備されていない。補助金の交付目的、条件、補助対象経費、補助率、補助金額、補助事業の内容等を明確にするため、早急に整備すべきである。
- (イ) 平成 20 年度から継続して同額の補助金を交付している。補助金の交付決定については、事業内容や収支計算書を精査し、補助金の積算根拠を明確にすべきである。
- (ウ) 補助金の精算手続きについては、個々の支払が当該補助対象経費であるかどうかを判断する必要があるので、実際に帳簿及び支払を証する書類を確認すべきである。

### 指導事項

- (ア) 補助金交付団体であるシルバー人材センターに対しては、自治法第 221 条第 2 項に定めるところにより、適切な指導監督を実施されたい。また、シルバー人材センターの運営や今後の事業展開等について意思の疎通を図りながら、定年退職者等の高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するよう努められたい。

## 第 8 シルバー人材センターの概要

- 1 沿革  
平成 4 年 4 月 社団法人福江市シルバー人材センター設立  
平成 16 年 8 月 市町合併により社団法人五島市シルバー人材センターに改名  
平成 24 年 3 月 公益社団法人へ移行

### 2 設立目的

シルバー人材センターは、定年退職者等の高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供することなどにより、その能力を生かした就業その他の多様な社会参加活動を援助して、これらの者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的としている。

- 3 役員構成 理事会 16 人（理事長 1 人、理事 13 人、監事 2 人）

- 4 組織体制 会員184人(男性113人、女性71人)  
H28.4.1現在 事務局4人(次長1人、職員2人、臨時職員1人)

#### 5 事業内容

- (1) 臨時的かつ短期間な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための、就業の機会を確保及び提供
- (2) 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものに限る。)を希望する高齢者のために、職業紹介事業又は一般労働者派遣事業
- (3) 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習
- (4) 就業を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業
- (5) 前各号に掲げるもののほか、高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るために必要な事業
- (6) その他シルバー人材センターの目的を達成するために必要な事業

#### 6 五島市との関係

五島市は、シルバー人材センターの運営に要する経費として、平成27年度に補助金12,000,000円を支出している。

#### 7 平成27年度事業実施状況

##### (1) 事業実績

ア 会員数	184人(平均年齢72.1歳)
イ 受注件数	2,186件(前年度比11.4%増)
ウ 受注契約額	65,842,884円(前年度比6.0%増)
エ 就業実人員	169人(就業率91.8%)

##### (2) 会員状況

184人(H28.4.1現在)

福江地区：148人、富江地区：19人、玉之浦地区：5人

三井楽地区：2人、岐宿地区：4人、奈留地区：6人

(新規会員45人、脱退会員39人で6人の増)

##### (3) 受注可能な仕事内容

- ア 技術群：教育指導講師、書道講師、パソコン指導講師
- イ 技能群：大工、左官、塗装、襖・障子・網戸張り替え、剪定
- ウ 事務群：整理事務、受付事務、毛筆・筆耕事務
- エ 管理群：駐車場管理、公園管理、建物管理
- オ 折衝外交群：配達、水道検針、各種調査
- カ 一般作業群：屋内外清掃、除草、草刈り、各種農作業、墓地清掃
- キ サービス群：家事援助サービス
- ク その他：ワンコインサービス

(4) 普及啓発活動

全国シルバー人材センター事業協会が定める10月の「普及啓発月間」にあわせ、チラシ等を配布し普及啓発活動を実施した。また、10月開催の「福江みなと祭り」には役職員・会員35人が参加し、普及啓発活動に努めた。

(5) ワンコインサービス事業

日常生活の「ちょっとした困りごと」の支援活動事業として、「何でも相談 ワンコインサービス事業」を平成27年度から実施し、ゴミ出し、室内清掃、家具移動等延べ509件を受注した。

(6) 就業拡大、適正就業対策並びに会員力の向上

シルバー派遣事業の開拓推進により介護事業所及び農業法人等の5事業所と契約した。全会員の職種希望を把握し、職群班の編成・強化を実施した。

(7) 安全対策の強化

安全管理委員会による就業現場のパトロール、安全指導、安全保護具着用の徹底を図った。

(8) 独自事業の実施

ア リサイクル事業

① 会員11人

② 荷物（物品）の引取り清掃、整理及び販売のリサイクル業務を実施し、約2か月に1度展示即売会を実施

イ バラモン凧製作

① 会員2人

② 毎月1人10枚程度の凧を作製し、五島市観光協会等で販売

(9) 趣味クラブ活動状況

潮路短歌会 会員11人 毎月1回例会を開催

## 8 財政の状況

### (1) 収支計算書 (H27. 4. 1日～H28. 3. 31)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
一般正味財産増減の部			
經常収益	87,805,679	87,655,418	150,261
經常費用	86,167,395	86,034,602	132,793
当期經常増減額	1,638,284	1,620,816	17,468
經常外増減の部			
經常外収益	0	0	0
經常外費用	6,172	6,172	0
当期經常外増減額	△6,172	△6,172	0
当期一般正味財産増減額	1,632,112	1,614,644	17,468
一般正味財産期首残高	6,381,420	6,381,420	0
一般正味財産期末残高	8,013,532	7,996,064	17,468
指定正味財産増減の部			
収益	0	0	0
費用	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
正味財産期末残高	8,013,532	7,966,064	17,468

### (2) 貸借対照表 (H28. 3. 31 現在)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	12,501,125	流動負債	6,610,206
固定資産	2,105,145	固定負債	0
特定資産	1,680,252	正味財産の部	
その他特定資産	424,893	科 目	金 額
		指定正味財産	0
		一般正味財産	7,996,064
資産合計	14,606,270	負債及び正味財産合計	14,606,270